

# 水道局だより

## 私たちの暮らしの中の水道 vol.7

令和2年1月16日発行  
水道局

☎237-5811 FAX 237-5819

身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は老朽施設の更新や、災害対策について今後の計画を見ていきます。

### 水道事業の歴史と施設の老朽化



津市の水道はいつから始まったの？



津市は井戸水を利用していただけ、その大部分が不衛生なものだったから伝染病が年々広がり続け、安全な飲料水の確保が重要な課題だったんだ。そこで大正14(1925)年に水道事業を創設し、当時の津市の年間予算約5年分に当たる458万円を投じて約90年前の昭和4年8月に給水を開始したんだよ。



給水開始に向けた工事の様子



そんなにたくさんのお金を使って一気に造られたってことは、やっぱり安全な水ってとても大切なんだね。

今の浄水場や水道管も90年前から使っているものなの？



一番大きな片田浄水場など、まだまだ当時から使っているものもあるんだ。水道管や浄水場などの施設が老朽化して、これらの更新をたくさんしないとイケないんだよ。平成30年度からの10年間で、約230億円かけて更新していった。最近10年間でかかった費用は約120億円だから、その約2倍に当たる費用を投じて行っただよ。



これまでも古い管を新しくする工事をしてきているのに、どうして古い管は増えていくの？

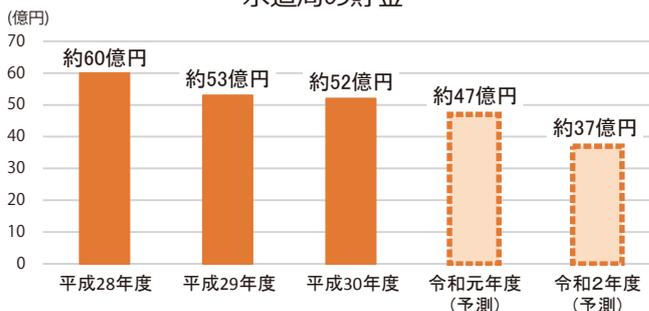


今使っている水道管の多くは高度成長期(昭和40年代)の水道事業拡張期に敷設されたもので、一斉に更新時期を迎えてくるから、これまでの更新ペースでは追いつかないんだ。



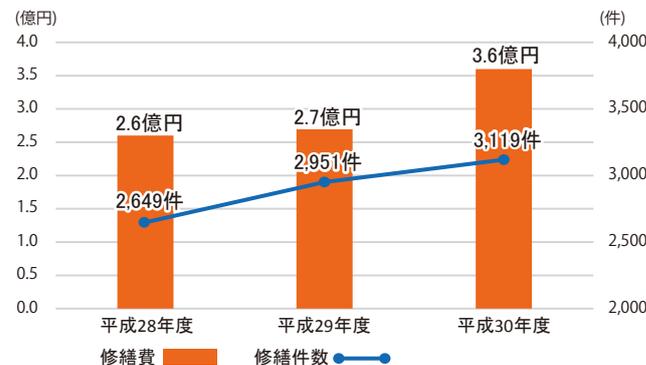
これからさらにお金がかかるんだね。将来、施設を新しくするために備えた貯金が毎年減っているって聞いたけど、この先どうなるの？

水道局の貯金



今後の更新費だけでなく、修繕費も年々高くなっているんだ。だから貯金はますます厳しくなるんだよ。古くなった水道管の割合が高くなると漏水事故が発生しやすくなってしまっただよ。最近、修繕が追いつかないくらい件数も増えてきているから、早く新しい水道管に更新しないとイケないんだよ。

修繕費と修繕件数



**今の水道を維持することはもちろん、50年先、100年先の世代まで安定して水道水を届け続けるのは、今を生きる私たちの責任です。**